

入院中の抗不安薬・睡眠薬処方割合（高齢者）

【指標の説明】

向精神薬の使用はリスクが伴います。特に高齢者については転倒、それによる骨折などのリスクが考えられ（高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015）、抗不安薬・睡眠薬の利用が少ないほうが、より安全と考えて策定した指標です。ベンゾジアゼピン系を含む全ての抗不安薬・睡眠薬を対象としています。

【定義・計算方法】

分母のうち入院中、抗不安薬・睡眠薬の処方があった患者数

60歳以上の入院患者数

× 100（％）

【データ収集期間】

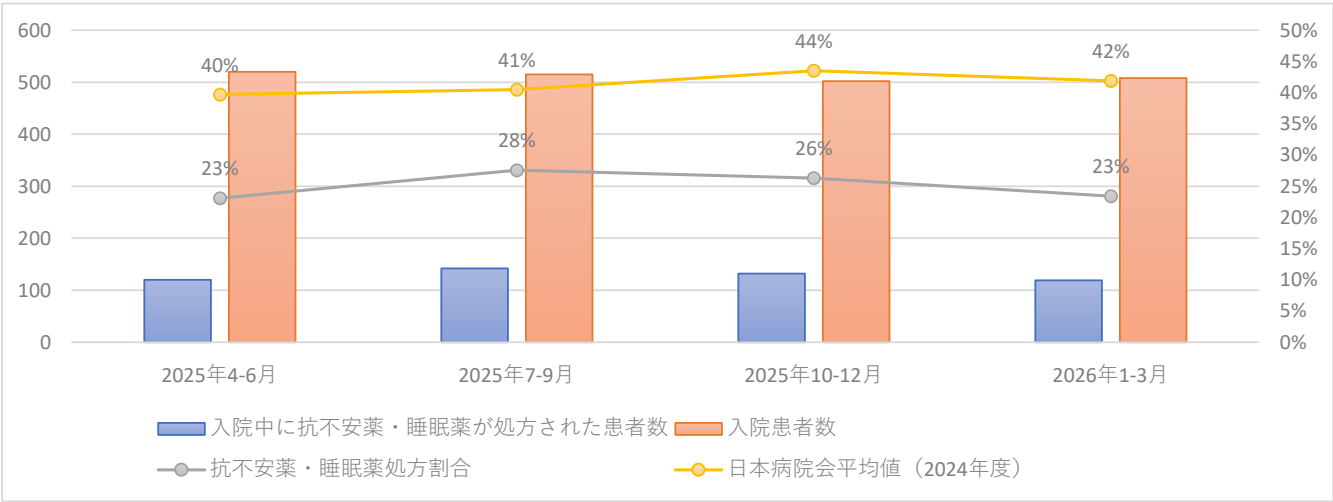
3ヶ月毎

【データ抽出方法】

分子：EFファイル / 分母：DPC様式1

【値の解釈】

プロセス / 低い値が望ましい



【年次推移】

